

ベントグリーンの管理は9月に開始

ベントグリーンが最も弱る時期にこそ、来年に向けた準備を

一般的なベントグリーンは、9月にどのような状態になる？

6月から
衰退を始めた**根部**は
最も弱っている

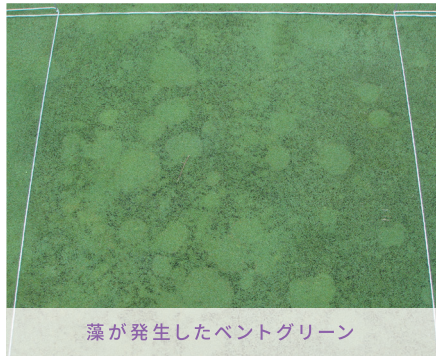
見た目は良くても、
貯蔵養分はほぼ
使い果たし、**必死に**
耐えている状態

芽数は一年を通じて
最も減少しており、
藻の侵入も目立つ

場所によっては
乾燥害や**病害**による
ダメージが出ている



ベントグリーンの断面。根部が衰退している



藻が発生したベントグリーン



乾燥害によるダメージを受けたベントグリーン

9月のベントグラスの生育環境は？

夜温は下がってくるが
地温はまだ高い

根や土壌微生物の
呼吸によって
土壌中の酸素濃度は
低い

台風や長雨の
影響により
水分過多状態に
なりやすい

急な暑さの
ぶり返しにより、
最高気温が35度を
超える日も

9月のベントグリーンの管理のポイント

あせらず
無理せず
攻めすぎず

更新作業は慎重に

新根の発根を確認したら、軽めのスパイクングから始めましょう。

肥料は液肥の少量多回数散布を継続

窒素の量はまだ控えめに抑えておきましょう。
リン酸、カリウム、マグネシウムを中心に、状態によっては
アミノ酸資材等も活用を。

ダメージを受けた部分は差し替えや播種で回復を

ピシウム病、炭疽病には引き続き警戒しつつ、 ダラースポットにも注意

細菌病の発生圧も高まるので、
不明な病斑があった場合はすぐに病害診断を依頼してください。

散水量は徐々に減らしていく

ただし、根の長さや土壌水分量をこまめに確認しながら行いましょう。
減らしすぎると乾燥害が発生することもあるので注意が必要です。
実は9月は乾燥害発生が最も多い時期のひとつです。

目砂は散水で落とせる量で

厚目砂をするにはまだ早過ぎます。
ブラシですり込んで芝生を傷つけないように注意しましょう。

インターシードを行う場合は、 既存の芝生の芽数が最も減少している9月が適期

グリーンスピードを求めて 刈高を下げ過ぎないように注意

Envuがおすすめする殺菌剤

芝生を中から守る
シグネチャーWDG

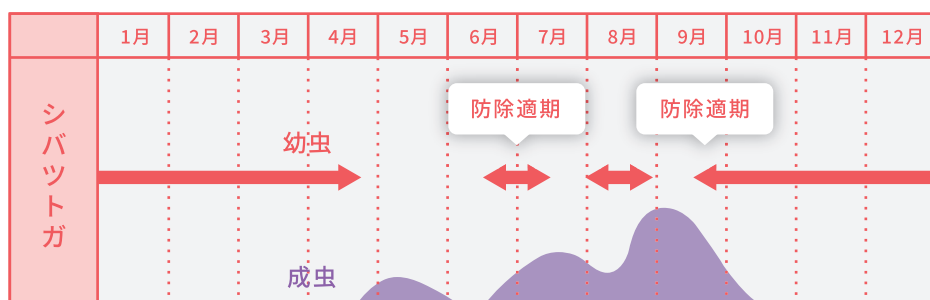
炭疽病と藻類の予防に
プロテクメートWDG

幅広い病害の予防に
デディケートフロアブル

ダラースポット対策に
インターフェースフロアブル

TOPICS

9月は翌春のシバツトガの発生を抑制する殺虫剤散布適期です！



9月に卵からかえった幼虫は、幼虫の状態越冬します。この幼虫の数を減らしておくことで、来年の虫害の発生を抑えることが可能です。

Envuがおすすめする殺菌剤

テトリーノ®
フロアブル

ベントグリーンの管理において9月はスタートの月です。
来年のグリーンコンディションをイメージしながら、施肥薬計画、
更新作業計画を立てましょう。